

政策シート

(政策名) 妊娠・出産を応援するための環境づくり

(予算費目名) 次世代育成費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を感じることなく、安心して子どもを生み育てることができる環境を整える。

◇関連するSDGsのゴール

③保健	④教育								
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	125,406	147,128	138,290	135,707	208,583
決算	123,302	145,344	138,206	134,943	
人件費(A)	2,100	4,200	5,600	5,600	5,600
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	125,402	149,544	143,806	140,543	214,183

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
こども館来館者数(人)	人	190,000	目標	182,000	184,000	205,000	205,000	205,000
			実績	203,265	207,058	206,264	228,702	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援を行うことで、子育てに対する不安感や負担感を感じることなく、安心して子どもを生み育てることができる環境を整える。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・こども館において、子どもや保護者に対して魅力的な主催事業を実施することで、次代を担う児童の健全な育成と子育て支援が図られた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松子ども館管理運営事業					209,739	207,639	0.3			
2	地域少子化対策強化事業	○	○			4,444	944	0.5			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						214,183	208,583	0.8			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松こども館管理運営事業

◇事業目的・事業対象

児童を対象に、遊びを通じた多様な社会・文化体験機能と交流機会を提供し、児童の健全育成を図ることを目的とする。

◇事業の概要

【浜松こども館運営事業】

- ・もの作り体験や異年齢の子どもたちが交流する場を提供することにより、児童の健全育成を図る。
- ・こども館分室を貸し出し、ギャラリーや会議室として、市民の利用に供する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H13	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松こども館条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	125,406	132,941	124,884	127,549	207,639
	決算	123,302	131,338	124,801	126,807	
	国・県支出	8,516	8,861	8,949	8,945	8,946
	市債					
	その他	8	12	41	43	300
	一般財源 一般会計繰入金	114,778	122,465	115,811	117,819	198,393
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松こども館において、保育士等の資格を有するスタッフが、乳幼児等の保護者からの育児相談等に対応している点。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
こども館来館者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	182,000	184,000	205,000	205,000	205,000	205,000	205,000	
実績値	203,265	207,058	206,264	228,702				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【浜松こども館運営事業】
 ・もの作り体験や異年齢の子どもたちが交流する場を提供することにより、児童の健全育成を図った。
 ・こども館分室を貸し出し、ギャラリーや会議室として、市民の利用に供した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

魅力的な主催事業の実施、LINE@等による主催事業等の周知、無料チラシの配付、駐車場割引事業等の各種取組みにより、来館者数は、前年実績・H30年度目標値ともに大幅に上回る事ができた。更なる事業内容の充実を図るとともに、事故防止のための安全点検や補修等を継続して行う必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 統合・再構築 事業費 拡大 人工 現状

主な利用者の年齢が異なる施設間における利用者交流や利用者そのものの拡大、施設ボランティアの相互活用など管理運営上の相乗効果を期待し、当該施設と当課所管「浜松市立青少年の家」を一体的な指定管理とする方針で、次期指定管理者の選定を行った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 統合・再構築 事業費 現状 人工 現状

主な利用者の年齢が異なる施設間における利用者交流や利用者そのものの拡大、施設ボランティアの相互活用など管理運営上の相乗効果を期待し、当該施設と当課所管「浜松市立青少年の家」を一体的な指定管理とする方針のもとに選定した新たな指定管理者による管理運営を行う。

事業シート (事業名) 地域少子化対策強化事業

◇事業目的・事業対象

結婚や出産を望む男女が希望をかなえられるよう結婚等の支援に取り組むことで、若い世代が結婚や妊娠に対して前向きに考えられるよう、社会全体の機運醸成を目指す。

◇事業の概要

(1) はままつ婚活アドバイザー事業
出会いから結婚に至るまでの過程において、助言等伴走型の支援を行うおせっかい役のアドバイザーを養成し、H30年度まで実施した婚活イベント参加者からの相談等のフォローを行う。
(2) 家族形成意識の醸成講座
高校、大学、企業等に講師を派遣し、未婚化、晩婚化及び初産年齢の高齢化がもたらす諸問題について学び、社会人になる前に家族形成の重要性や自らのライフデザインについて考える機会を提供する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	-	一般会計	自治事務(その他)	-	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		14,187	13,406	8,158	944
	決算		14,006	13,405	8,136	
	国・県支出		14,006	4,946		
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金			8,459	8,136	944
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			2,100	3,500	3,500	3,500
人工	正規		0.3	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.7	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

家族形成意識の醸成講座において、家族計画に関連する内容を講義している点。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
女性の平均初婚年齢(歳)					II-1(1)ア		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	28.6	28.2	27.8	27.4	27	27	27	
実績値	29.2	29.2	29.1	R2.1頃確定				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

(1)はままつ婚活イベント実施事業
 出会いの場の提供を目的とし、浜松市の特色を取り入れたイベント等を開催した。
 (2)はままつ婚活アドバイザー事業
 出会いの機会から交際に至るまでの過程において、アドバイザーをはままつ婚活イベントに派遣し、参加者のフォロー及びイベント終了後の相談に応じた。
 (3)家族形成意識の醸成事業
 市内の高・大学生等に対し、人生設計に結婚や家族形成を前向きに描けるよう、出前講座などを活用し、情報提供を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度
 遅れている

<事業の成果>
 ・結婚を希望する独身男女(132名)に対する出会いの場の創出(婚活イベント事業)を行った。
 ・婚活アドバイザー(11名)の養成を行い、市民からの婚活相談や婚活イベントの参加者への支援を行った。
 ・家族形成意識に関する出前講座を行い、延べ864名に対して意識啓発を行った。

<課題>
 ・女性の社会進出、価値観の変化、雇用の非正規化による経済的な理由等複合的な事由により、初婚年齢の高齢化が続いている。
 ・仕事が忙しく、独身男女の出会いの場が少ない。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・婚活イベントについて、3年間実施した成果を踏まえ、今後の事業展開を検討するため、次年度(令和元年度)は実施しないこととした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・少子化問題の解消につながる女性の初婚年齢の引き下げは継続した取り組みが必要である。
- ・事業実施に伴い発生する課題を考慮しながら、事業内容の見直しを行うとともに、今後の効果的な事業展開について検討する。
- ・国や県による交付金が見込めないことから、財源的にも効率的な事業実施の検討が必要である。

政策シート

(政策名) 妊娠・出産を応援するための環境づくり
(予算費目名) 保育所費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

◇政策の概要

安心して子育てができ育てる喜びを感じられるために、就学前における教育・保育の提供体制を確保するとともに、質の高い教育・保育のさらなる充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,397,385	1,928,245	1,392,121	736,722	903,419
決算	1,384,401	1,928,245	1,392,121	735,164	
人件費(A)	7,700	7,700	7,700	5,600	4,900
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,392,101	1,935,945	1,399,821	740,764	908,319

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
保育施設利用定員数(4月1日現在)	人	17,308	目標	11,201	12,711	14,156	15,108	15,658
			実績	11,201	12,711	14,156	15,108	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

安心して子育てができ育てる喜びを感じられるために、就学前における教育・保育の提供体制を確保するとともに、質の高い教育・保育のさらなる充実を図った。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
認定こども園や保育所の施設整備を進め、目標どおりの保育所等利用定員数を確保することができた。
◆認定こども園の整備(3園:230人)、保育所の整備(3園:240人)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	私立保育所等助成事業	○	○	○		908,319	903,419	0.7				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						908,319	903,419	0.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 私立保育所等助成事業

◇事業目的・事業対象

「浜松市子ども・若者支援プラン」に基づく、認定こども園・保育所の創設・増築及び老朽化や耐震性の劣る施設の増改築などの施設整備による定員増を行うことで、保育所等利用待機児童の解消を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.26】【R1-R4重点戦略項目 No.58、69】
 認定こども園・保育所の創設・増改築等の施設整備を行う事業者に対して、国や県の施設整備にかかる助成制度に基づき助成を行い、保育所等利用待機児童の解消を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	児童福祉法第24条	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,397,385	1,928,245	1,392,121	736,722	903,419
	決算	1,384,401	1,928,245	1,392,121	735,164	
	国・県支出	1,210,391	1,714,004	1,237,445	654,867	803,042
	市債		202,900	129,400		
	その他					
	一般財源	174,010	11,341	25,276	80,297	100,377
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		7,700	7,700	7,700	5,600	4,900
人工	正規	1.1	1.1	1.1	0.8	0.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.2	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

認定こども園・保育所の施設整備による定員増を図ることで、保護者の就労等により家庭において必要な保育を受けることが困難な小学校就学前子どもの保育の受け皿を確保し、すべての子どもに質の高い教育・保育を提供する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27～H30	R1～R4
保育施設利用定員数(4月1日現在) (人)					-	-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	11,201	12,711	14,156	15,108	15,658	17,308	17,308
実績値	11,201	12,711	14,156	15,108			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27～H30	R1～R4
保育所の定員増数(累計)(人)					-	26	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	720	1,110	1,520	1,700	-	-	-
実績値	720	1,110	1,520	1,760	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27～H30	R1～R4
認定こども園の定員増数(人)					-	26	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	370	1,160	1,620	1,850	-	-	-
実績値	370	1,160	1,620	1,850	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27～H30	R1～R4
保育所など利用待機児童数(人)					Ⅱ-1(3)ア	-	-
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	407	300	200	100	0	0	0
実績値	407	214	168	97			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27～H30	R1～R4
保育施設の定員増数(対H30比較累計)(人)					-	-	58、69
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					550	2,200	2,200
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.26】

認定こども園・保育所の創設・増築の施設整備を行う事業者に対して、国や県の施設整備にかかる助成制度に基づき助成を行い、保育所等利用待機児童の解消を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成30年4月1日時点において、14,190人分の保育所等利用定員を確保することができた。
認定こども園及び保育所の創設や増築の施設整備により470人利用定員の増を図ることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

認定こども園及び保育所の創設や増築の施設整備により利用定員の増を図ることができた。
施設整備数の減少により、前年度に比べて事業費が減額となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

待機児童解消のため、引き続き、認定こども園及び保育所の創設や増改築等の施設整備により利用定員の増を図る。

補助シート (事業名) 私立保育所等助成事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
58 69	保育施設の定員増550人	保育施設の定員増200人	保育施設の定員増730人	保育施設の定員増720人

◇【H27～H30】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
26	施設整備により保育所の定員増720人	施設整備により保育所の定員増390人	施設整備により保育所の定員増410人	施設整備により保育所の定員増180人
26	施設整備により認定こども園の定員増370人	施設整備により認定こども園の定員増790人	施設整備により認定こども園の定員増460人	施設整備により認定こども園の定員増230人